

各学校からご意見や要望等を多数お寄せいただき、ありがとうございました。やはりコロナ禍に関わるものが多くを占めていました。市教委担当課にもお届けいたしました。大変遅くなりましたが、ここにご報告いたします。

① 豊かな心の育成に関して（道徳・心の教育、いじめ不登校対応 学校の支援体制など）

- ・道徳教育や個別対応がしっかりとされているとの意見がある一方、いじめ・不登校への心配や解消に向けての意見が多くあった。
- ・解消に向けては、支援員や生徒指導の加配など人的支援を要望する声が多かった。

② 確かな学力の育成に関して（授業に関して、家庭学習等に関して、ICT 活用など）

- ・タブレットに関する意見が多かった。タブレットを活用した授業のさらなる充実を求める声がある一方、紙や鉛筆を使った学習の充実を求める声もあった。また、タブレットへの依存性やSNSでの中傷などを心配する声もあった。
- ・必要に応じてタブレットの良さを生かした学習をされているものと思うが、実際に触れ・感じ・考える体験や学習を大事にしてほしいとの声があった。
- ・フィルタリングが最低限であることへの不安の声もあった。成長に合わせた対応や、親も利用状況や利用内容が確認できるような仕組みがほしいとの声があった。
- ・休校で不足した授業の補充と、そのための授業支援員の配置を期待する声があった。
- ・受験生を持つ親にとって、通知表や共通テスト回数減で入試への判断材料が少ない。安心して受験に臨めるよう、フォローアップをお願いしたいとの声があった。

③ 健やかな体の育成に関して（健康づくり、体育・給食など）

- ・食に関しての意見では、体と食の関係や食の大切さについて低学年の時から教えてほしいや、肥満児が多いように感じるので運動や献立について検討したいといった声があった。また、パンを減らしご飯を増やしてほしいという意見もあった。
- ・コロナ禍で、例えば水泳指導など大変だったろう。授業を支援する職員が必要であるとの声があった。
- ・コロナ禍で健康づくりが十分ではなかろう。長期化を踏まえた取り組み・対策が必要との声があった。
- ・総合運動部の実施状況調査と、統一的なカリキュラム立案を求める声があった。
- ・体育の授業のみでの健康づくりは難しいだろう。学校・家庭・地域の連携ができないかとの声があった。

④ 教育環境の整備に関して（施設・設備、安全・事故防止など）

- ・施設の老朽化対策、修理を求める声が多数寄せられた。施行時期だけでも早く分かればよいとか、UDの視点に立った環境整備を求める声もあった。
- ・通学路の安全確保への取り組みや支援を求める声が多くあった。また、タブレット持参もあり持ち帰り荷物増に伴う事故や成長への影響を心配し、「置き勉」禁止の緩和を求める声もあった。
- ・トイレに関しては、洋式化や数の確保、衛生面での改善を求める声が多かった。
- ・その他、児童増で運動場が狭いとか、バス通学児童のためバスの台数増を求める声もあった。
- ・学校施設や備品を修理して使うことの大切さを訴えた意見もあった。

⑤ 学校・家庭・地域社会の連携推進に関して（情報伝達・情報共有・協力・連携など）

- ・個人情報保護により学校・家庭・地域の連絡がつきにくく、協力・連携が難しい状況との声が多かった。
- ・コロナ禍で、諸行事の中止や家庭・地域の連携・交流の場が消滅した。以前のように戻れるか不安だとの声もあった。
- ・共通テストの回数減、高校受験日の前倒し等への注意点等を、市教委から情報発信してほしいとの要望があった。

⑥ 社会教育に関して（例えば、図書館・博物館・公民館・金峰自然の家等）

- ・金峰山自然の家に関しては、再起を待ち望む声、自己責任で利用できるような施設にといった様々な意見があった。
- ・コロナ禍の中、実体験の機会が減り、見学旅行等の再開を待つ声やオンラインでの実施を求める声があった。

⑦ その他（自由記述）

- ・児童育成クラブに関して、予算が少なく備品購入に苦慮や、施設・設備の老朽化が顕著といった声
- ・コロナ禍の対応、コロナ後の対応と変化を希望。コロナ前の当たり前も見直しが必要との声
- ・特に中学校歴史教科書への意見で、国民としての自覚を育てられるような教科書を採用すべきとの声
- ・特定の保護者から頻繁に面談を求められ業務に支障をきたすとの学校からの声があった。支援がほしい。